

人権教育映画上映会を実施

6月1日(木)の第6限目、体育館で、今年度の「人権教育映画上映会」を実施しました。「ネット差別を許すな～川口泰司～」のDVDには、愛媛県の被差別部落で生まれ育った川口さんの生い立ちや山口県人権啓発センターの事務局長でありながら、実名で講演活動を進めている熱い思いが語られていました。いま、ネット上には差別の動画や文字があふれている。検索数の多いものが上位にくるシステムで、間違っただけの情報でも真実のように扱われている現状の中、当事者は声をあげられず、立場を隠し、おびえながら生きる人がいる。無知・無理解・無関心な人ほど、危ない！こういう時代だからこそ、人権教育が必要だと訴えています。

上映会終了後、生徒たちや保護者の方に感想を頂きました。以下、その一部を紹介します。



◇(上略) 中学の頃から差別問題について学んでいるが、知識は少ないので、自分に何が出来るかを考えて差別問題に取り組みたいです。同じ人間なのに、どこかが違ったら差別をするのは、おかしい。だから、差別について深く関心をもち、今、自分に何が出来るかを考えていきたいです。【1年男子】

◇(上略) 川口さんは、自分のつらさや悲しみを聴きにきている人たちにしっかり伝えたり、差別の現実と向き合いながら、他者にその悲しさや恐ろしさを伝えている姿が、とてもかっこいいと感じた。私も関係ないことと済ませることなく、差別に向き合いながら、しっかり考えていきたいです。【1年女子】

◇(上略) 私も、スマホを使って「知恵袋」などを見ている時、かなりの確率で差別表現などの攻撃性を含む文章を多く見ます。間違っただけの情報を取り込まないために、上位だけの情報だけを見ずに、いろいろな情報を取り入れて、取捨選択していけるようにネットリテラシーを身に付けていきたいです。【2年男子】

◇(上略) 差別もいじめも、加害者・被害者だけでなくその周りの人もすごくつらいということを高校生活の中で改めて知りました。「助けたい」「解決したい」「我慢すればいい」この気持ちだけではどうにもならなくて、どうするのが正解かわからないけれど…川口さんの話を聞いて、もっと頑張ろうと思えました。自分がまず変わることを、行動することを心がけようと思えました。明るく笑える日まで、前向きに頑張りたいです。【2年女子】

◇(上略) 若い世代が、何も考えずにしていることで、多くの人たちが悩んだり、悲しんだりして胸が苦しくなります。自分の今までの行動、これからすること一つ一つを重くとらえて考えていきたいと思えました。とても良いものを身につけられたと思えます。【3年男子】

◇(上略) ネット差別の中で、本当にわかっていない質問者が、嘘の質問をして、差別する人を気づかぬうちに増やしてしまっているという差別の悪循環だなと思えます。知らないのであれば聞かなければならないし、答えるのであれば、正しいことを教えられる人が増えていけば良いなと思えました。【3年女子】

◇(上略) 正しい人権の知識を得るためには、何が正しいかを見極める力と正しい組織から正しく学ぶことが大切だと感じた。生徒の皆さんがその学びを生かし、社会で活躍してくれることを願っています。【保護者】

第1学期 人権・同和教育ホームルーム活動を実施

6月6日(金) 7限目

1年生	差別の現実(Ⅰ)～いじめ問題の解決に向けて～
2年生	人権の歴史(Ⅰ)～差別の起こり～
3年生	差別の解消(Ⅰ)～確かな進路保障のために～

